

# 手賀沼流域

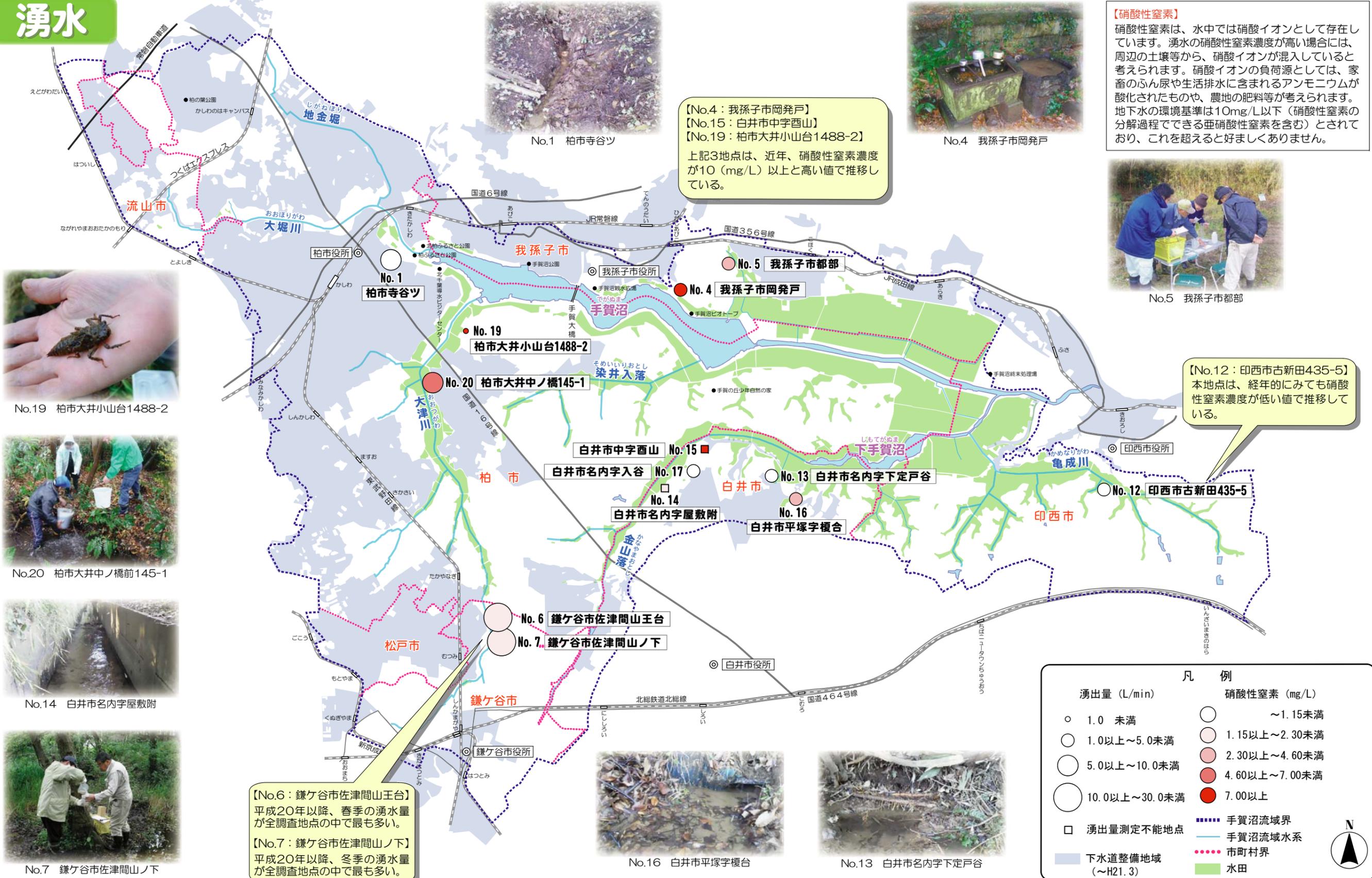
## 協働調査結果(平成22年度)

手賀沼流域の各湧水地点で、平成22年度に実施した春季・冬季の湧出量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。

### 【参加団体】

我孫子市環境レンジャー、我孫子市史研究センター、我孫子野鳥を守る会、印西市環境推進市民会議委員、大津川をきれいにする会、かわ・水・みどり、沼南手賀沼ボランティア会、白井の自然を考える会、ちばぎん清風会、手賀沼水生生物研究会、水と土・手賀沼の会、谷津ミュージアムの会、緑水会 ※五十音順  
柏市、我孫子市、松戸市、印西市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:千葉県水質保全課)

### 湧水



#### 【硝酸性窒素】

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等と考えられます。地下水の環境基準は10mg/L以下(硝酸性窒素の分解過程でできる亜硝酸性窒素を含む)とされており、これを超えると好ましくありません。



【No.12: 印西市古新田435-5】  
本地点は、経年的にみても硝酸性窒素濃度が低い値で推移している。

【No.4: 我孫子市岡発戸】  
【No.15: 白井市中字西山】  
【No.19: 柏市大井小山台1488-2】  
上記3地点は、近年、硝酸性窒素濃度が10(mg/L)以上と高い値で推移している。

【No.6: 鎌ヶ谷市佐津間山王台】  
平成20年以降、春季の湧水量が全調査地点の中で最も多い。  
【No.7: 鎌ヶ谷市佐津間山ノ下】  
平成20年以降、冬季の湧水量が全調査地点の中で最も多い。

凡 例	
湧出量 (L/min)	硝酸性窒素 (mg/L)
○ 1.0 未満	○ ~1.15未満
○ 1.0以上~5.0未満	○ 1.15以上~2.30未満
○ 5.0以上~10.0未満	○ 2.30以上~4.60未満
○ 10.0以上~30.0未満	○ 4.60以上~7.00未満
□ 湧出量測定不能地点	● 7.00以上
■ 下水道整備地域 (~H21.3)	●●●● 手賀沼流域界
	— 手賀沼流域水系
	●●●● 市町村界
	■ 水田